



水島協同病院 だより

[病院理念] いつでも、だれもが、安心してかかる医療を追求します。

No.325

2021. 8月号



チームで知恵を出し合い

手指ケアの レベルアップ図る

2階西病棟

高齢になると、体温調節機能が低下するため、暑さを感じにくくなりますが、そのためエアコンをつけてください。これから暑くなると、熱中症の高齢者の救急外来受診が増えます。暑さで体調を崩しやすくなり、感染症や脳梗塞、心筋梗塞なども増えますので、体調管理には十分気をつけてください。

現在、地球温暖化によって地球全体で気温が上がりしており、日中の暑さもさることながら、夜間も容赦ない暑さが続きます。高齢者は、体内の水分量が少ないため脱水にな

ります。そのため声を掛け合って様子を見てあげてください。「普段と比べて元気がない」「ぼんやり

なりやすく、適切に水分補給をするだけでは十分といえず、環境や栄養にも気をつける必要があります。

この時期は特に声を掛け合って様子を見てあげてください。「普段と比べて元気がない」「ぼんやりしている」「食べられない」「立てない」「力が入らない」などの症状がある場合は、早めに受診しましょう。
(救急外来看護師)



今年は個々の患者で握り込みの型が違うため、長

方形のタイプを作成し、スキンケア方法のレベルアップを目指しているところです。
(2階西病棟 長尾美佳)

火元発見から初期消火、「患者役」を配置していないため、「避難誘導」は行わずに、患者情報カードをもとに患者の情報を収集し、本部へ連絡、非常放送、

定で行いました。院で定例の消防訓練を行いました。昨年度は新型コロナの影響で、実動訓練は行いませんでしたが、今年度は「患者役」を配置せず、規模を縮小する形で、日中に病室から出火したという想定で行いました。



▲病棟の患者さんが避難できているか、入院一覧リストを使ってしっかりと確認

（災害対策推進委員会
山本修平）

消防署への通報など一連の動きを確認しました。2年ぶりの実動訓練に加え、例年とは違う訓練が実施され、戸惑う職員も見受けられましたが、だつたため、戸惑う職員も見受けられましたが、



▲災害対策推進委員会メンバーからアドバイスをもらい、リーダーの役割を身につけていく

周りの声かけ・体調の変化を早めに読みとこう

さあ
夏
本
番

高齢者
熱中症
に
ご注意を！

新たな教訓や課題を発見

院内消防訓練